

助詞の4種類を整理しよう

図解 | 助詞は「何をしているか」で4種類に分ける

格助詞

名詞などに付き、述語などとの関係を示す。例：が・を・に・で・から

接続助詞

前後の内容をつなぐ。例：ので・から・けれど・ても

副助詞

限定・追加・強調などの意味を加える。例：は・も・だけ・しか

終助詞

文末に付き、疑問・念押しなどの気持ちを添える。例：か・ね・よ

※「から」「が」「と」などは、文の中での働きによって種類が変わることがあります。文字だけでなく、何に付き、どんな働きをしているかを確認しましょう。

図解① 助詞とは

問1 図解を見て答えなさい。

助詞は主に他の語に付き、語と語の関係を示したり、意味を付け加えたりする語です。「鳥が空を飛ぶ」の「が」は「鳥」と「飛ぶ」の関係を示しています。「が」は何助詞ですか。

答え _____

図解② 4種類の助詞

問2 正しいものを一つ選びなさい。

助詞は、格助詞＝語と語の関係を示す、接続助詞＝前後をつなぐ、副助詞＝意味を付け加える、終助詞＝文末で気持ちなどを添える、の4種類に分けられます。「雨が降ったので、試合は中止になった」の「ので」はどれですか。

ア 格助詞

イ 接続助詞

ウ 副助詞

エ 終助詞

図解③ 見分け方

問3 正しいものを一つ選びなさい。

見分けるときは、何に付いているか、前後をつないでいるか、意味を付け加えているか、文末で気持ちを表しているか、を確認します。「私は水だけ飲んだ」の「だけ」はどれですか。

ア 格助詞

イ 接続助詞

ウ 副助詞

エ 終助詞

確認問題

問4 正しいものを一つ選びなさい。

「今日は静かだね」の文末の「ね」はどれですか。

ア 格助詞

イ 接続助詞

ウ 副助詞

エ 終助詞